

ADWAYS

2023

MAY 2, 2023

PRESENTATION
MATERIAL

FIRST QUARTER

1Q



東京証券取引所プライム市場
株式会社アドウェイズ

2023年12月期 第1四半期
決算説明会

2023年5月2日
代表取締役社長 山田 翔

目次

1. 第1四半期の業績 ...P.5
2. 事業概況 ...P.17
3. 補足資料 ...P.36

本資料における記載方法について

- 2021年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。それに伴い「旧基準での売上高」を「取扱高」として記載しております。
- 取扱高および報告セグメント毎の売上総利益は、会計監査人による監査を受けた正式な数値ではない事をご了承ください。
- 2021年12月期から決算期を変更した事により、2021年12月期は国内会社9ヶ月間、海外子会社12ヶ月間、2021年12月期第3四半期は国内会社3ヶ月間、海外子会社6ヶ月間となります。
- 2022年12月期より報告セグメントを、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援を行う「エージェンシー事業(国内/海外)」と、UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービスの運営を行う「アドプラットフォーム事業」としております。
- 売上総利益率、販管費率、営業利益率、経常利益率、利益率（親会社株主に帰属する純利益率）、売上原価率、掲載料率は取扱高に対する比率を記載しております。

会社分割(簡易新設分割)による 子会社設立に関するお知らせ

(2022年11月25日開示)

2023年1月4日に新設分割により「株式会社ADWAYS DEEE」を新設し、当社のアドプラットフォーム事業に関する権利義務を「株式会社ADWAYS DEEE」に承継させました。

アドプラットフォーム事業の中心であるアフィリエイトサービスにおいては、変化が激しい業界の中で、広告主（クライアント）及び提携メディアの抱えているニーズや課題に十分に対応できていないという課題があり、このような課題にいち早く対応、解決するには、経営判断および事業判断を迅速にする事ができる子会社で事業を展開する事が必要だと判断し、子会社を設立いたしました。

※本件についての詳細は、当社ホームページをご覧ください。

Chapter1 : **First quarter results**

1.

第1
四半期
の業績

当四半期の業績と 前年同四半期・前四半期比較

単位：百万円

	2023年 12月期 第1四半期	前年同四半期 から当四半期	前年同四半期比 2022年12月期第1四半期			前四半期比 2022年12月期第4四半期		
		推移	実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
取扱高	15,202		15,826	▲623	▲3.9%	14,417	+785	+5.4%
売上高	3,455		3,518	▲62	▲1.8%	3,468	▲12	▲0.4%
売上総利益	2,898		2,804	+93	+3.3%	2,827	+70	+2.5%
販管費	2,358		2,149	+209	+9.7%	2,346	+12	+0.5%
営業利益	539		655	▲115	▲17.6%	481	+58	+12.2%
経常利益	575		696	▲120	▲17.4%	493	+82	+16.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	618		501	+117	+23.5%	1,127	▲508	▲45.1%

取扱高 前年同四半期比 6億23百万円の減少 (3.9%減)
前四半期比 7億85百万円の増加 (5.4%増)

営業利益 前年同四半期比 1億15百万円の減少 (17.6%減)
前四半期比 58百万円の増加 (12.2%増)

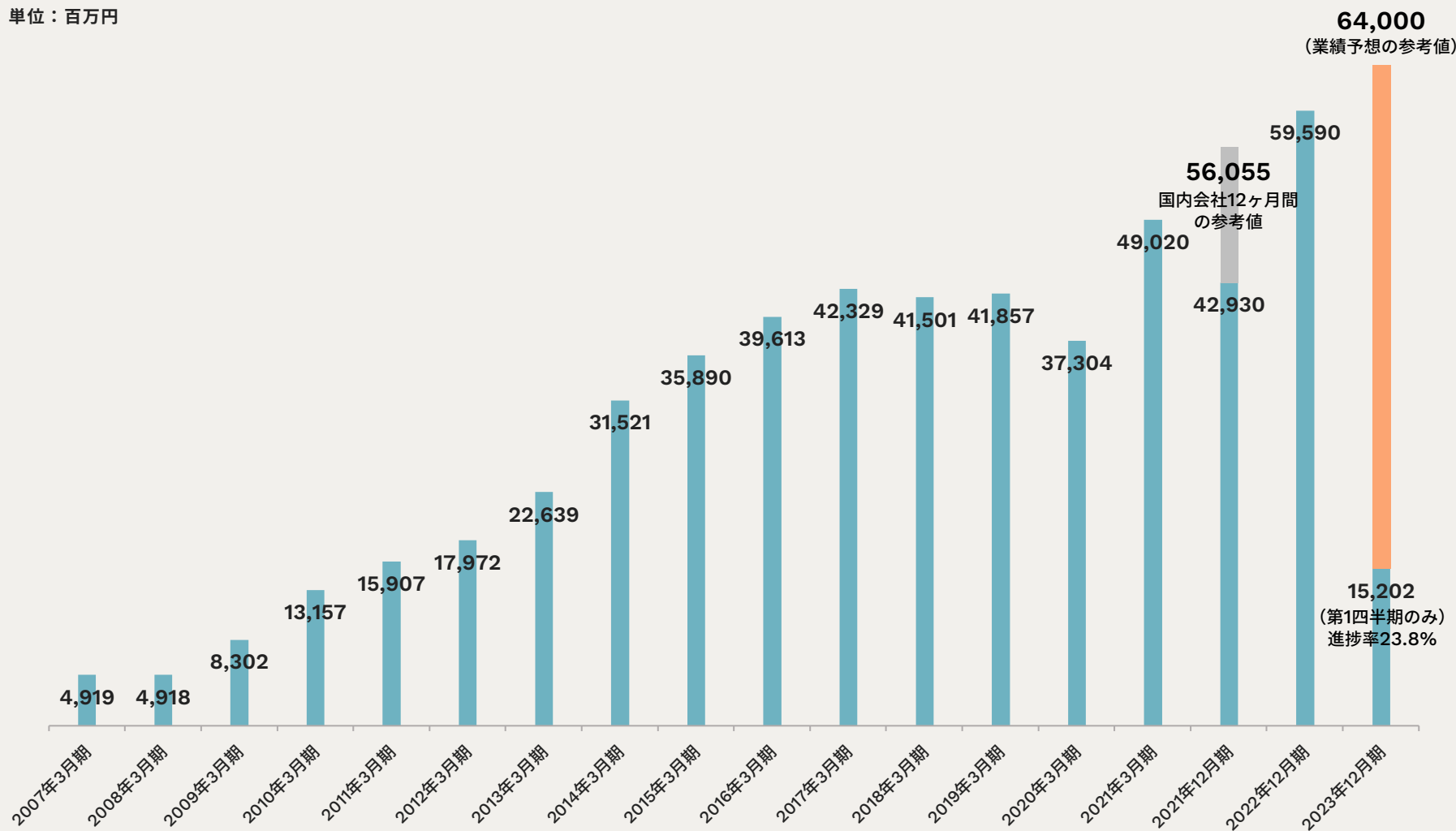
2023年12月期業績予想と実績

単位：百万円

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
通期予想	64,000	14,000	1,750	1,950	1,350
当第1四半期実績	15,202	3,455	539	575	618
進捗率	23.8%	24.7%	30.9%	29.5%	45.8%

年間取扱高 (2023年12月期については第1四半期実績と業績予想の参考値)

単位：百万円



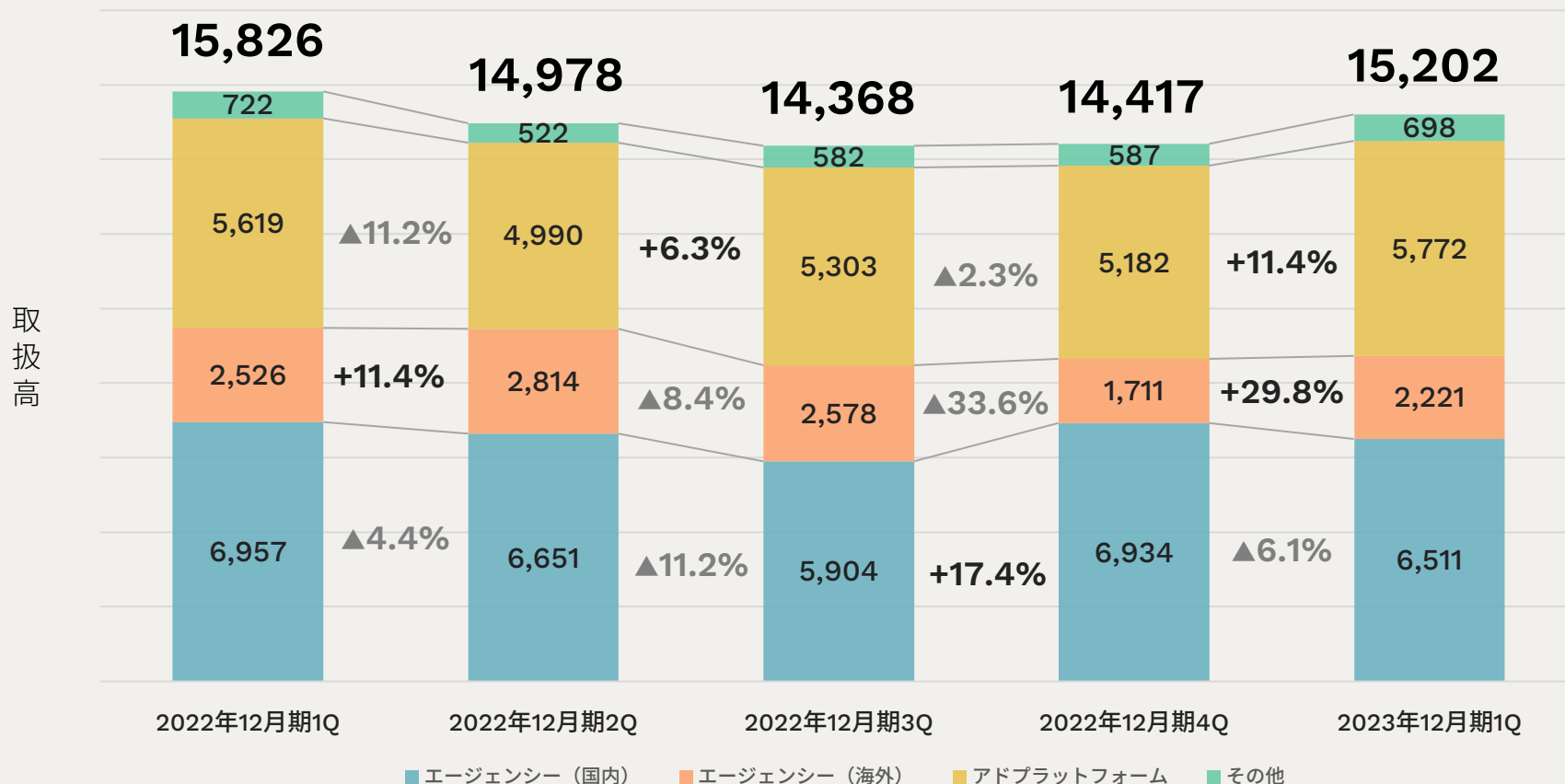
※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の国内会社を加えた参考値です。

当四半期のセグメントサマリー

<p>エージェンシー事業 (国内)</p>	<p>セグメント取扱高：65億11百万円 前年同四半期比：4億46百万円減少（6.4%減）</p> <p>ゲーム、マンガに分類されないアプリ案件が伸長したものの、ゲームアプリ、マンガアプリおよびEC案件が減少。</p>
<p>エージェンシー事業 (海外)</p>	<p>セグメント取扱高：22億21百万円 前年同四半期比：3億5百万円減少（12.1%減）</p> <p>中国政府によるゲーム業界への規制が緩和されたことにより、中国のアプリ広告は回復したものの、為替の影響などにより台湾の取扱高が減少。</p>
<p>アドプラットフォーム事業</p>	<p>セグメント取扱高：57億72百万円 前年同四半期比：1億52百万円増加（2.7%増）</p> <p>ECカテゴリのアフィリエイトは減少したものの、UNICORNとアプリおよび金融のアフィリエイトが伸長。</p>

取扱高の四半期推移

単位：百万円



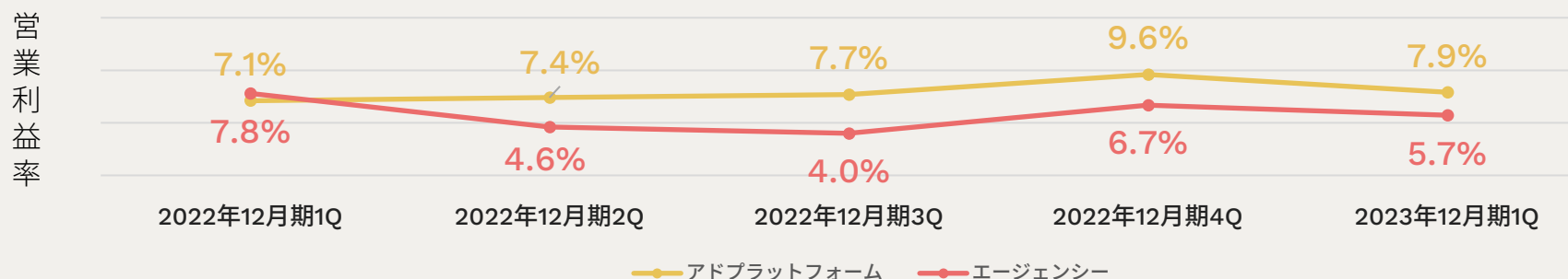
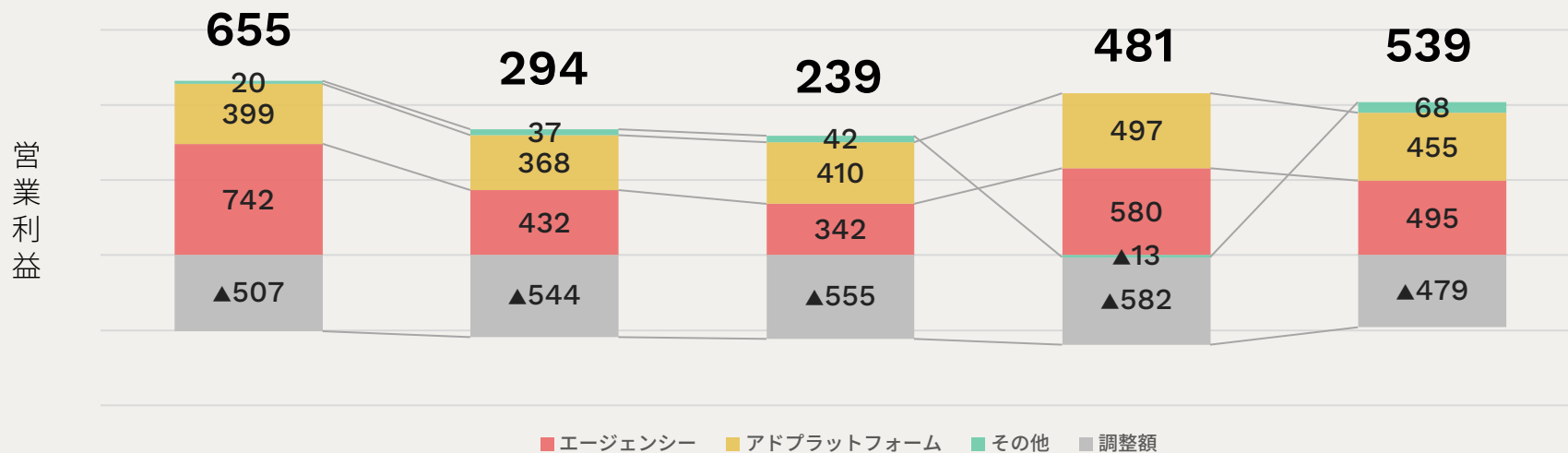
当四半期取扱高 152億2百万円

前年同四半期比 : 6億23百万円減 (3.9%減)

前四半期比 : 7億85百万円増 (5.4%増)

営業利益の四半期推移

単位：百万円



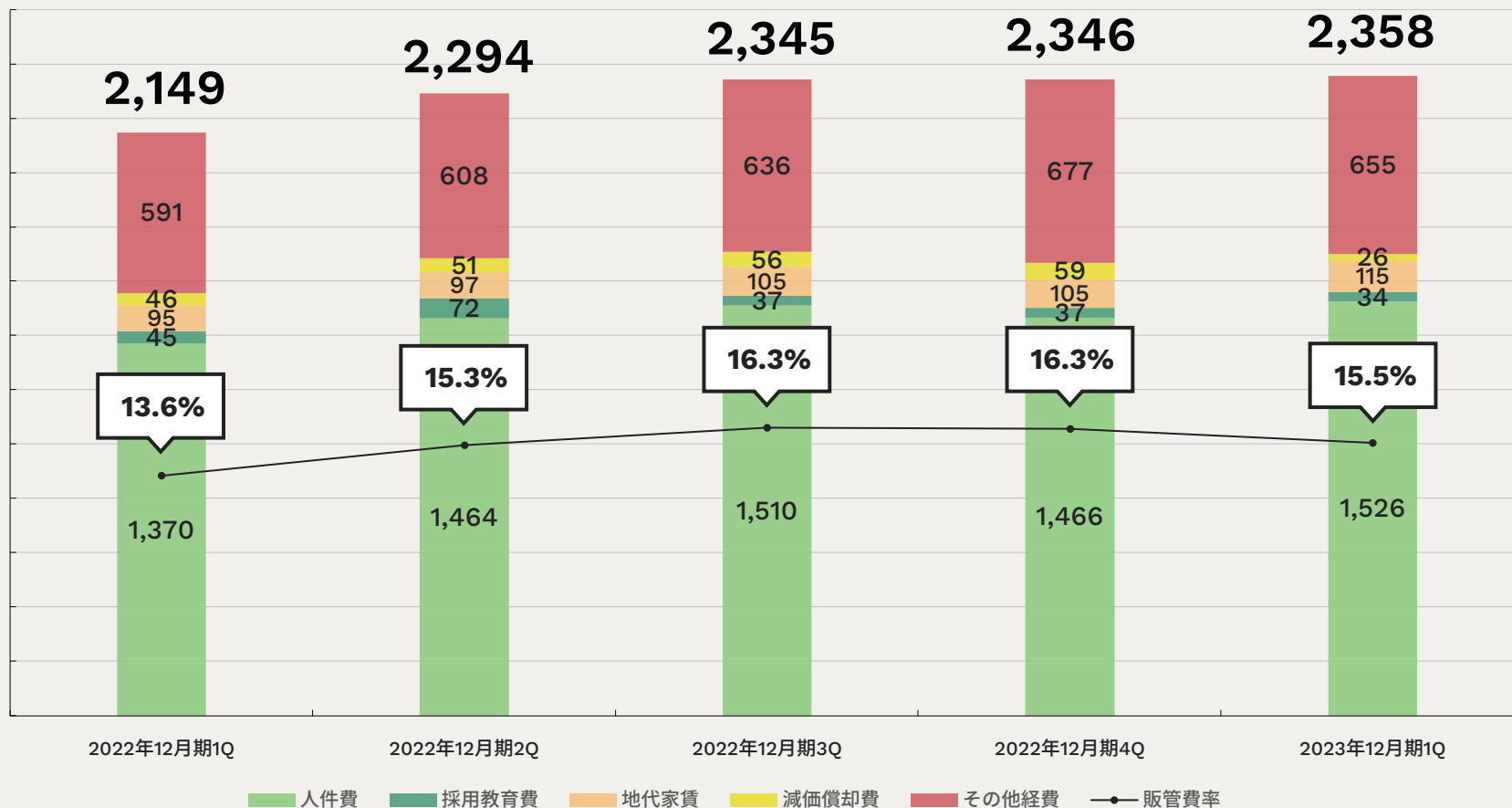
当四半期営業利益 5億39百万円

前年同四半期比 : 1億15百万円減 (17.6%減)

営業利益率 : 3.6% (0.6ポイント減)

販管費の四半期推移

単位：百万円



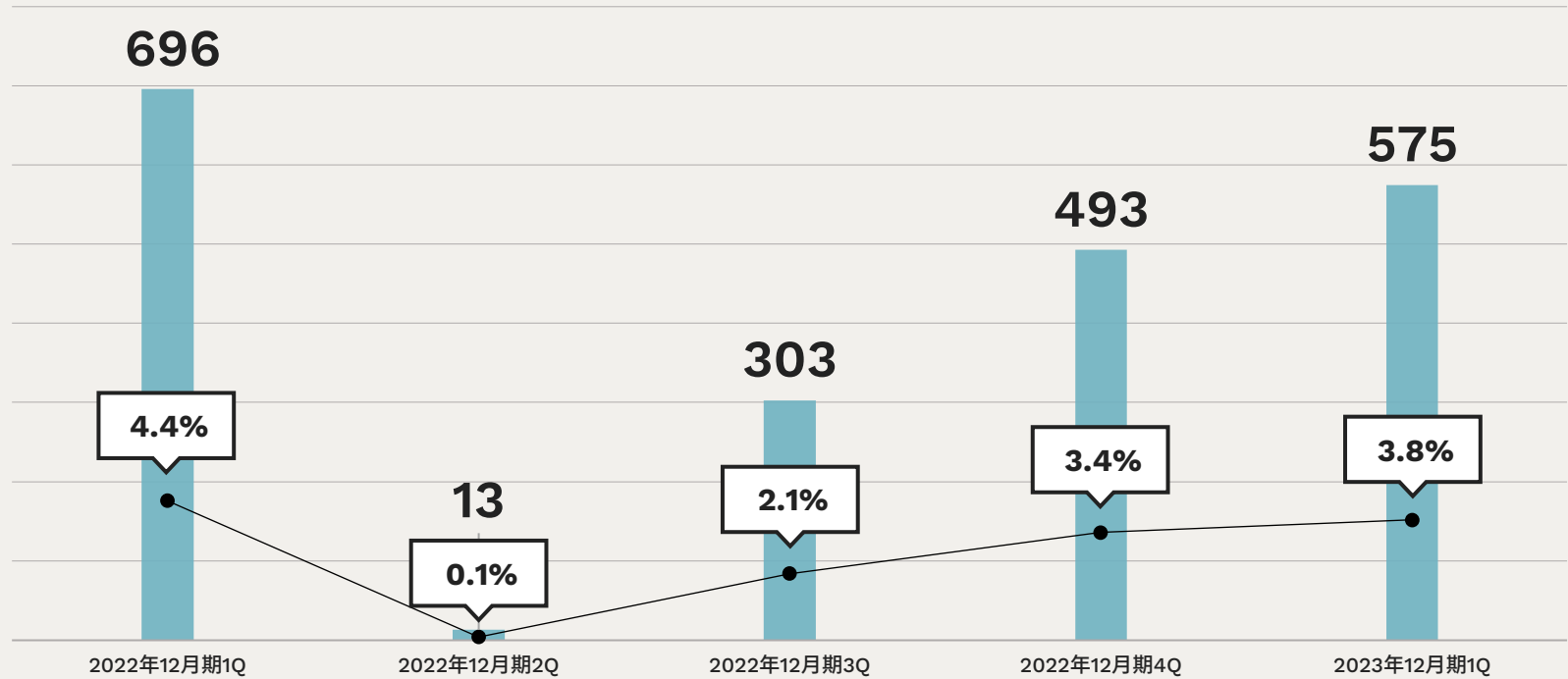
当四半期販管費 23億58百万円

前年同四半期比 : 2億9百万円増 (9.7%増)

販管費率 : 15.5% (1.9ポイント増)

経常利益の四半期推移

単位：百万円



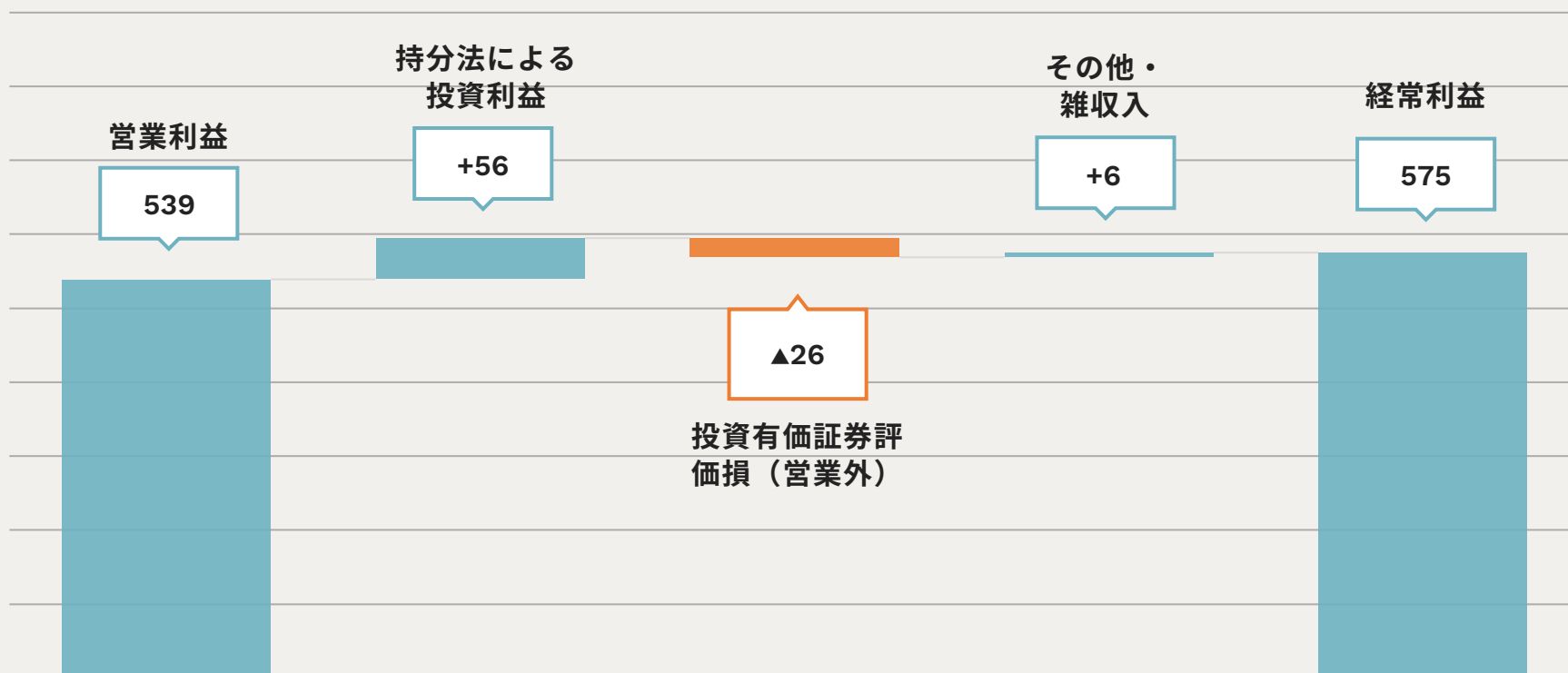
当四半期経常利益 5億75百万円

前年同四半期比 : 1億20百万円減 (17.4%減)

経常利益率 : 3.8% (0.6ポイント減)

経常利益の推移

単位：百万円



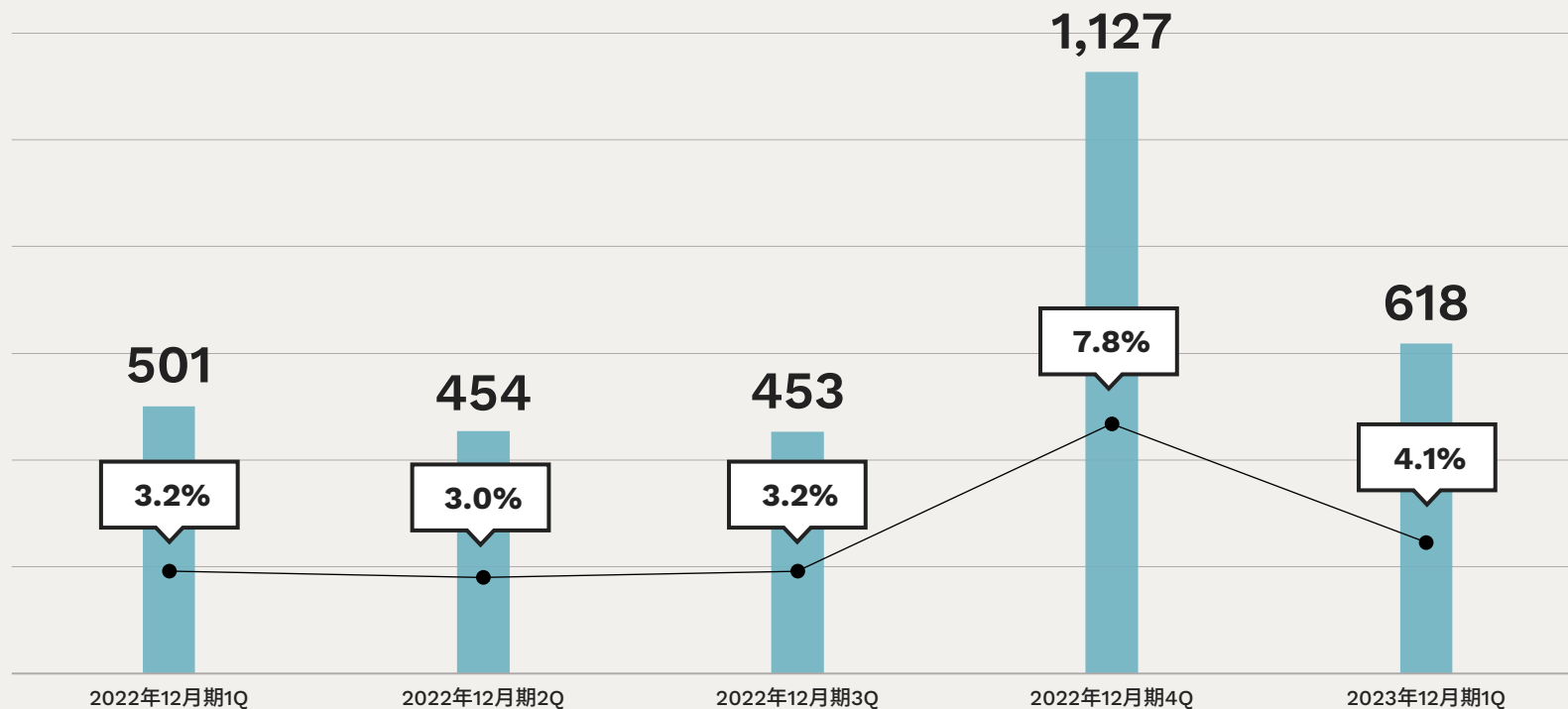
持分法による投資利益 56百万円

投資有価証券評価損(営業外) ▲26百万円

その他・雑収入 6百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益の四半期推移

単位：百万円



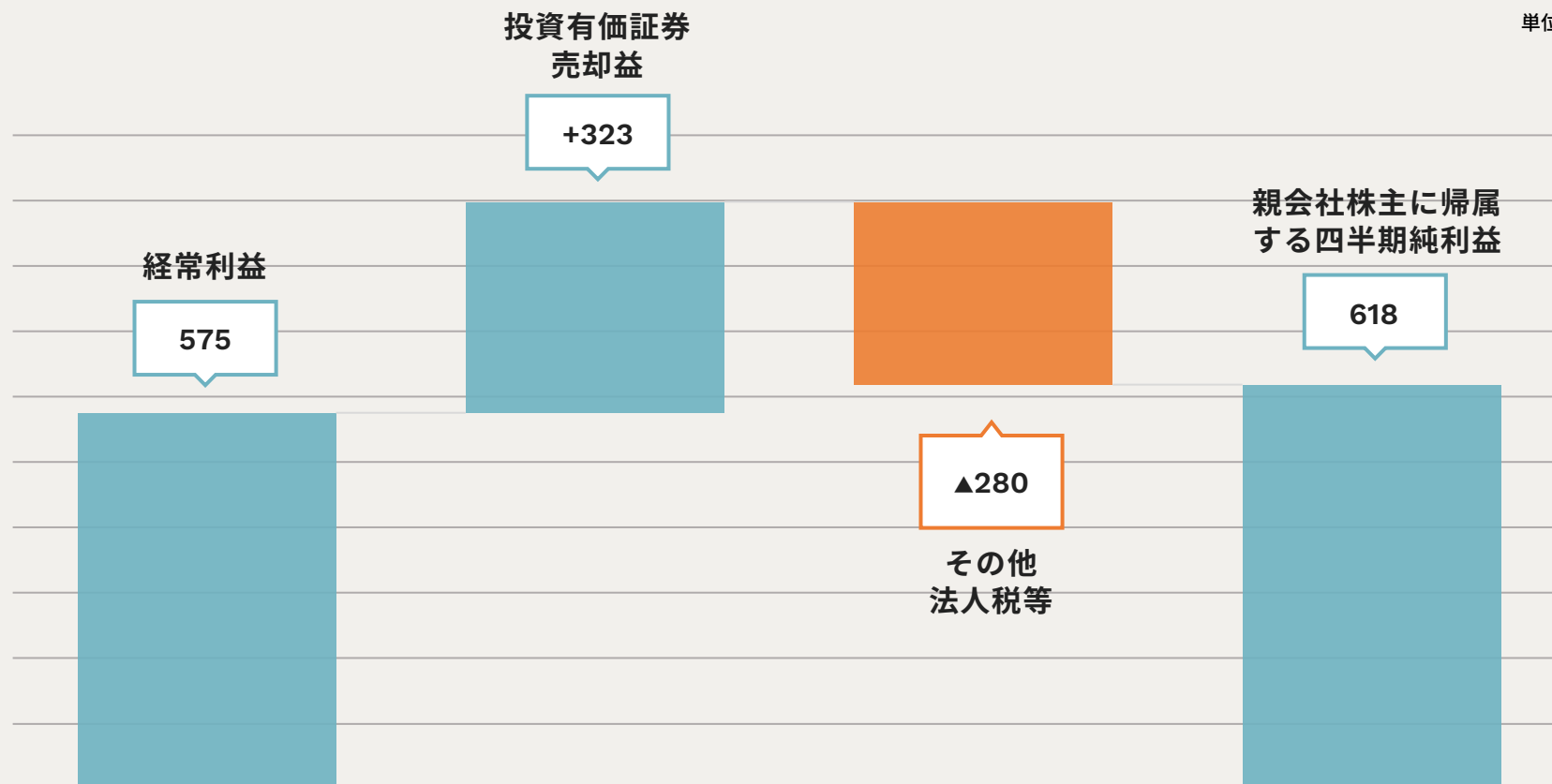
親会社株主に帰属する
当四半期純利益 **6億18百万円**

前年同四半期比 : 1億17百万円増 (23.5%増)

利益率 : 4.1% (0.9ポイント増)

親会社株主に帰属する四半期純利益の推移

単位：百万円



投資有価証券売却益 3億23百万円

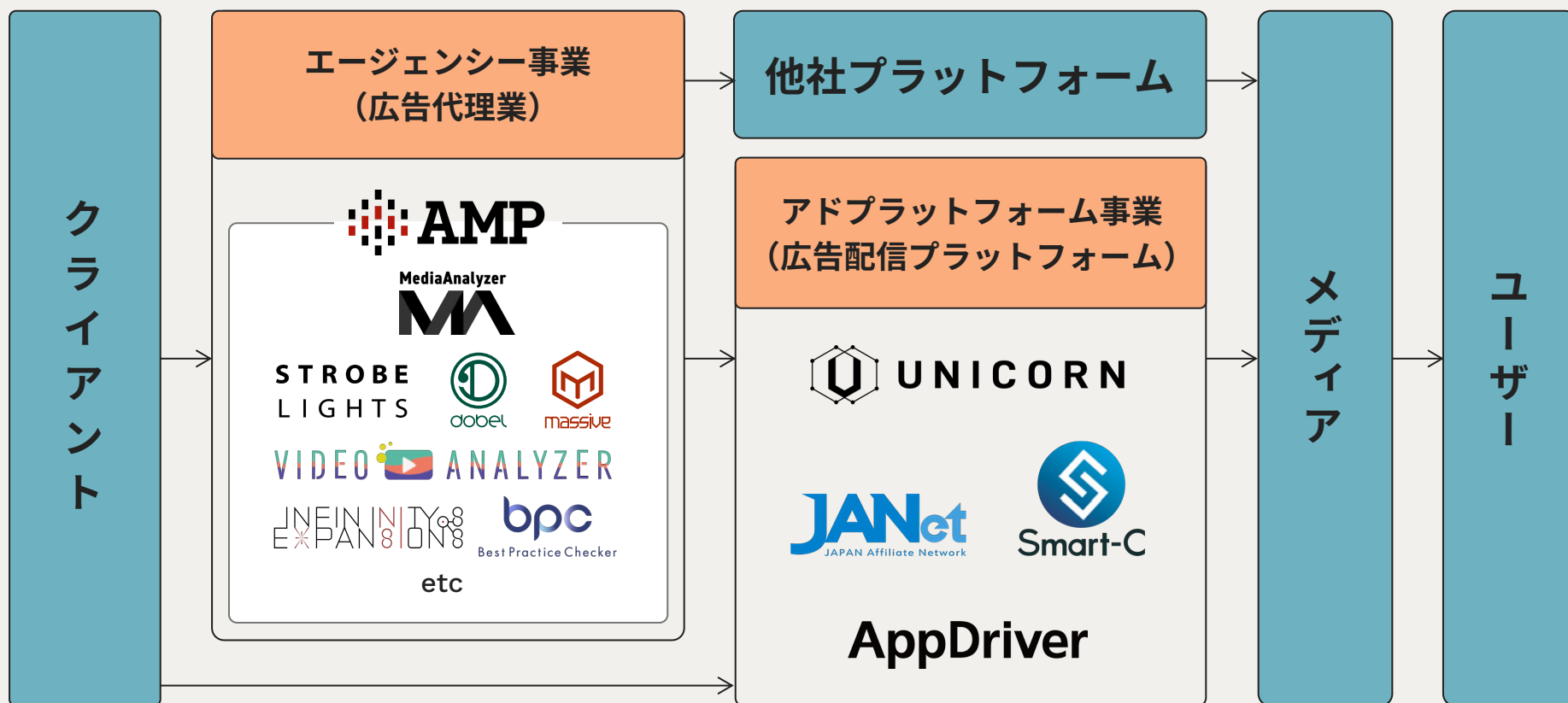
その他法人税等 ▲2億80百万円

2.

Chapter 2: business overview

事業概況

広告事業の分類



広告事業を、他社サービスの販売も行うエージェンシー事業と、自社の広告配信プラットフォームを運営するアドプラットフォーム事業に分類。

エー ジ エ ン シ ー
事業 (国内)

アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業

エージェンシー事業 (国内) 事業方針

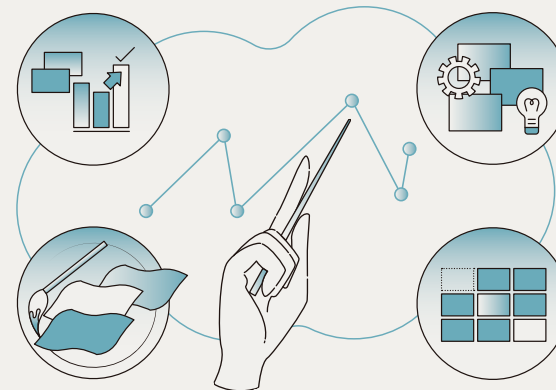
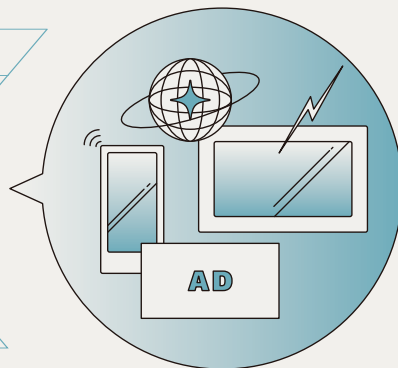
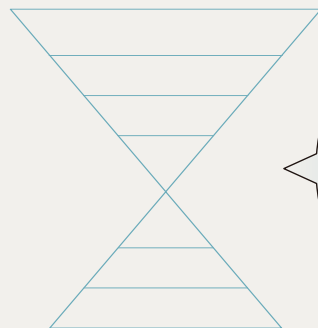
First quarter

顧客の事業成長ドライバーとして、 マーケティングDXを実現

Hakuhodo DY holdings



Hakuhodo DY
media partners



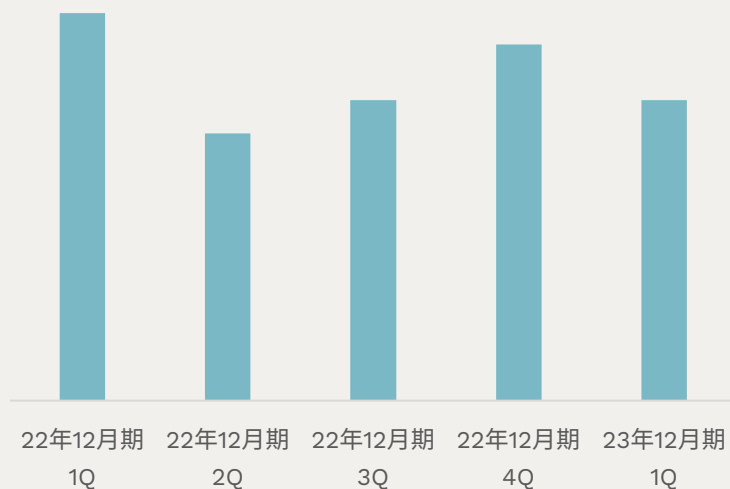
エージェンシー事業では、オフライン&オンラインの統合プランニングによる、包括的なマーケティング支援に取り組んでいます。ナショナルクライアント（ブランド広告主）へのアプローチや、“テレビとデジタルの統合プランニング”による“フルチャネル※1”“フルファネル※2”を意識した、より効果的なマーケティングプランを実行するため、広告という枠組みに囚われず、マーケティングコンサルタントとして、あらゆる課題解決に取り組みます。また、「人」による高い運用力・創造力とAIを活用した高度な「マーケティングテクノロジー」を融合し、本質的な広告価値を生み出すことで、クライアントの事業成長を包括的かつ効率的に支援いたします。

※1) フルチャネル：集客するための媒体、経路などを広く活用する事

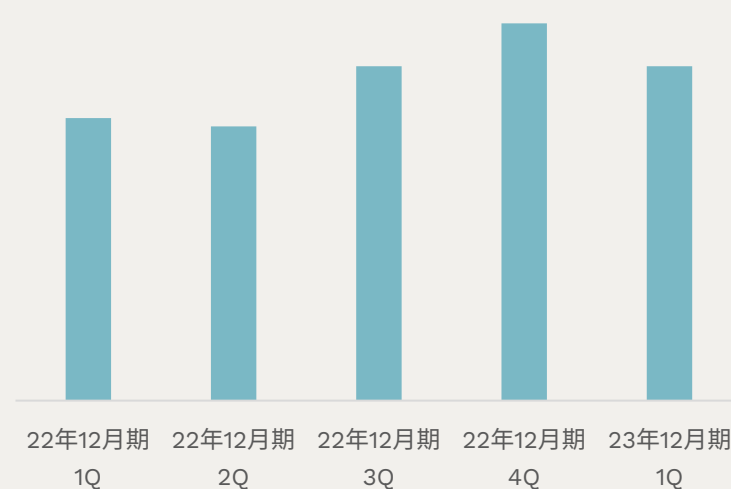
※2) フルファネル：消費者の商品に対する認知や検討、購入（利用）など多くの行動に対応する事

博報堂 D Y グループ 資本業務提携の 進捗

博報堂 D Y グループ 協業
取扱高推移



博報堂 D Y グループ 協業
アカウント数推移



一時的に大きく伸長した前年同四半期（2022年12月期1Q）と比較すると、取扱高は減少したものの、アカウント数は増加。

アドプラット
フォーラム事業

UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業



UNICORN

REDEFINE DIGITAL MARKETING

アドプラットフォーム事業 (UNICORN) 事業方針

チャンネル × 提供価値 × アカウントの
3軸で立体的に拡大



UNICORNでは、Apple Search Ads | Todayタブ、検索タブ、検索結果、プロダクトページでの自動最適化配信に加え、コネクテッドTVやOTT※等のサービスと連携し、配信面においても拡大を続けています。

また、メガプラットフォーム（Google Search、YouTube等）への対応を予定。

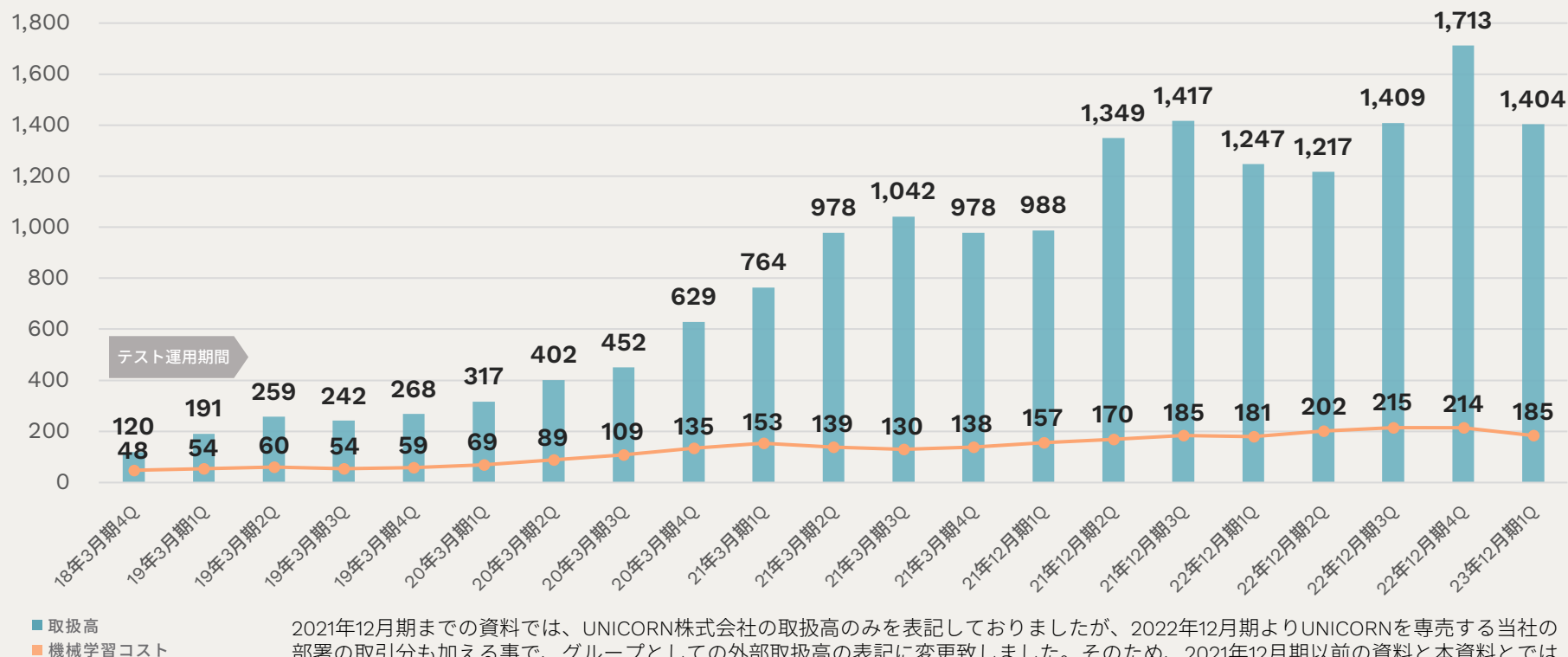
あらゆるチャンネルでのユーザーコミュニケーションの最適化を実現してまいります。

UNICORNの進捗

First quarter

UNICORNの取扱高／機械学習コスト推移

単位：百万円



取扱高は前年同期比で112%と伸長。

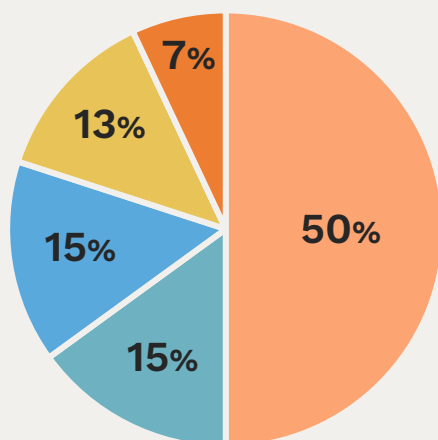
About UNICORN

UNICORNの進捗

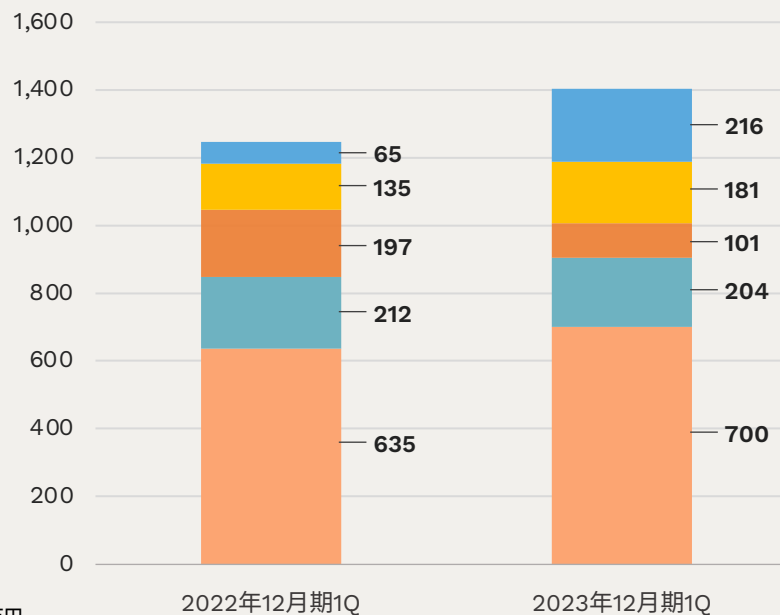
First quarter

ジャンル別進捗

2023年12月期1Q実績



ゲーム ブランド マンガ VOD その他



単位：百万円

ゲーム ブランド マンガ VOD その他

※2021年12月期まで「その他」に分類していた「ブランド」カテゴリを、2022年12月期より、個別で表示しております。

ゲーム・VOD・その他のカテゴリが伸長。

About UNICORN

UNICORNの進捗

First quarter

UNICORNの業績：前年同四半期比較

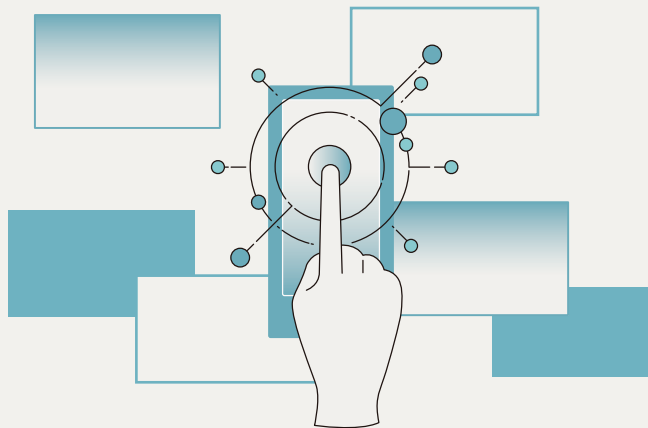
単位：百万円

	2023年12月期 第1四半期	前年同四半期比 2022年12月期第1四半期		
		実績	増減額	増減率
取扱高	1,404	1,247	+156	+12.6%
売上総利益	436	409	+27	+6.7%
営業利益	83	121	▲38	▲31.3%

取扱高、売上総利益は増加も、営業利益は減少。

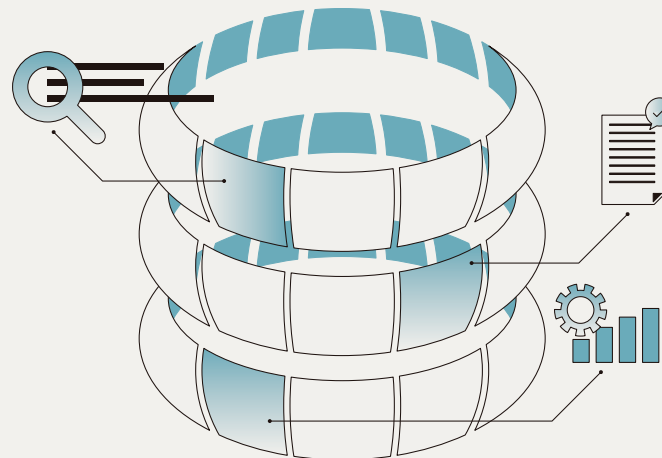
About UNICORN

先進的な広告手法 UNICORN Interactive AD



最先端の
クリエイティブフォーマット

Banner / Video / Reward Video
Native / Interactive

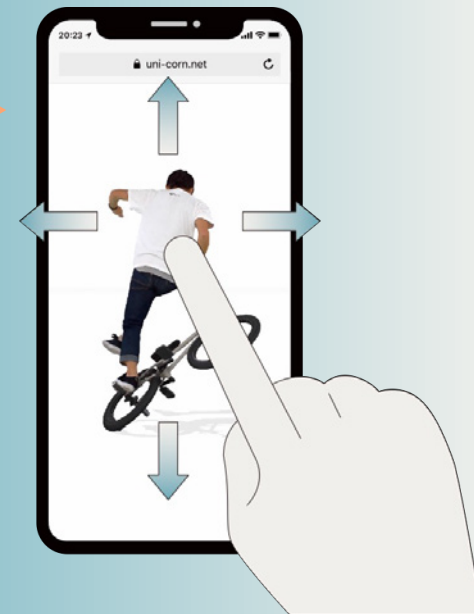
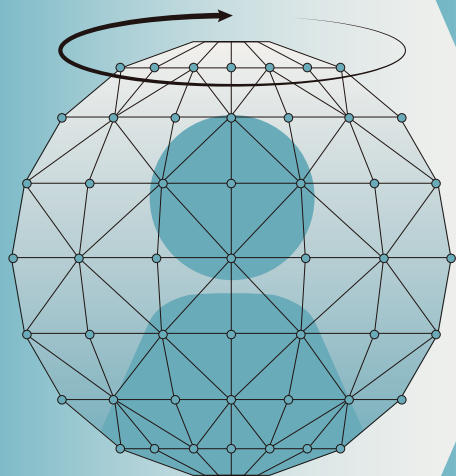


UNICORNでの
高精度な配信最適化

コンテキスト / ロケーション / デモグラフィック
キャリア / 承認リスト
(approved list)

これまでに無かったクリエイティブで、これまでは出会えなかったユーザーと
全く新しい形のコミュニケーションを実現。

ボリュメトリックビデオを活用した「XR Ad」の提供を開始



現実の空間や人物・物体等をデータ化し、撮影とほぼ同時に3D映像を生成できるボリュメトリックビデオの技術を広告クリエイティブにも活用することで、ブランドの世界観、商品やブランドの魅力を今までにない全く新しい映像体験として訴求することが可能となります。

D E E E

Delight
喜び

Exciting
わくわく

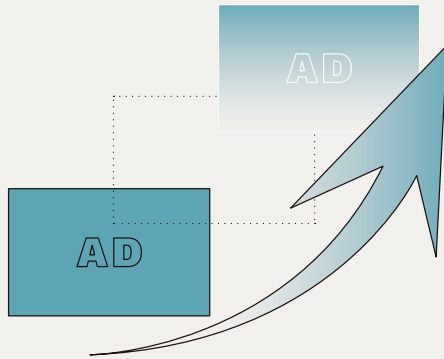
Eager
熱心

Exceed
超える

伝統と革新が融合する、
あたらしい集合体へ。

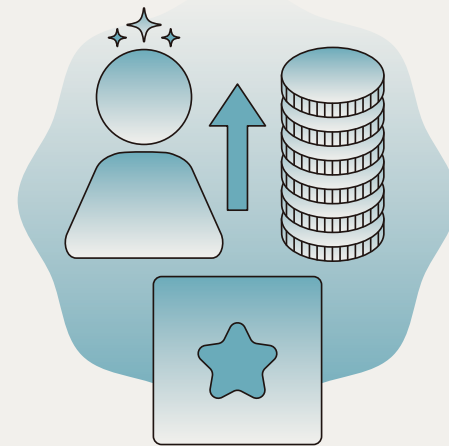
アドプラットフォーム事業 (ADWAYS DEEE)事業方針

JANet
JAPAN Affiliate Network



アフィリエイト広告を
新たな概念へアップデート。

AppDriver



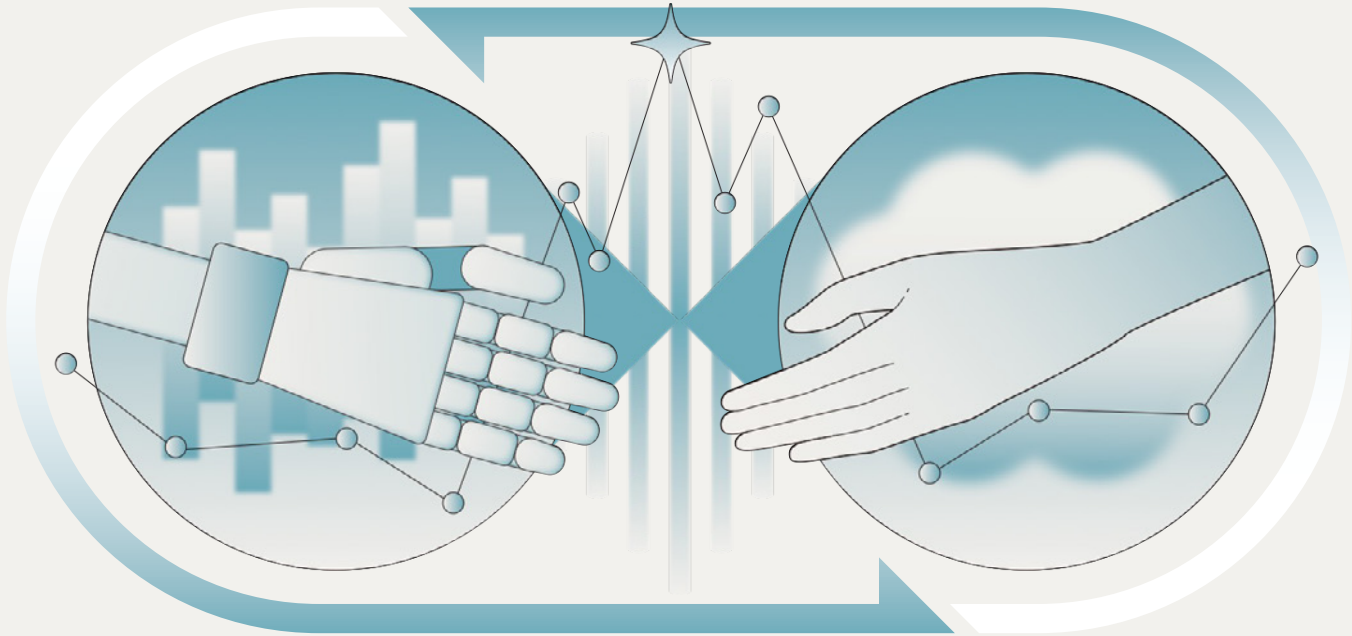
生活者体験の向上×メディア収益最大化
を実現するサービス開発の強化。

「JANEEE Advertising Report」の提供を開始



「JANEEE Advertising Report (ジャーニー・アドバタイジングレポート)」では、様々なデータに加え、専用ツールを活用したユーザーニーズ・トレンド関連データをダッシュボード上で可視化することで、パートナーの分析環境を向上し、アフィリエイト広告最適化と収益の最大化を支援いたします。

人と機械の共生



人にはできないことを
機械化

機械にはできないことを
人に集約

パフォーマンスの最大化

PURPOSE OF ADWAYS

**全世界に
「なにこれ すげー こんなのはじめて」
を届け、
すべての人の可能性をひろげる
「人儲け」を実現する。**

本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2023年5月2日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。

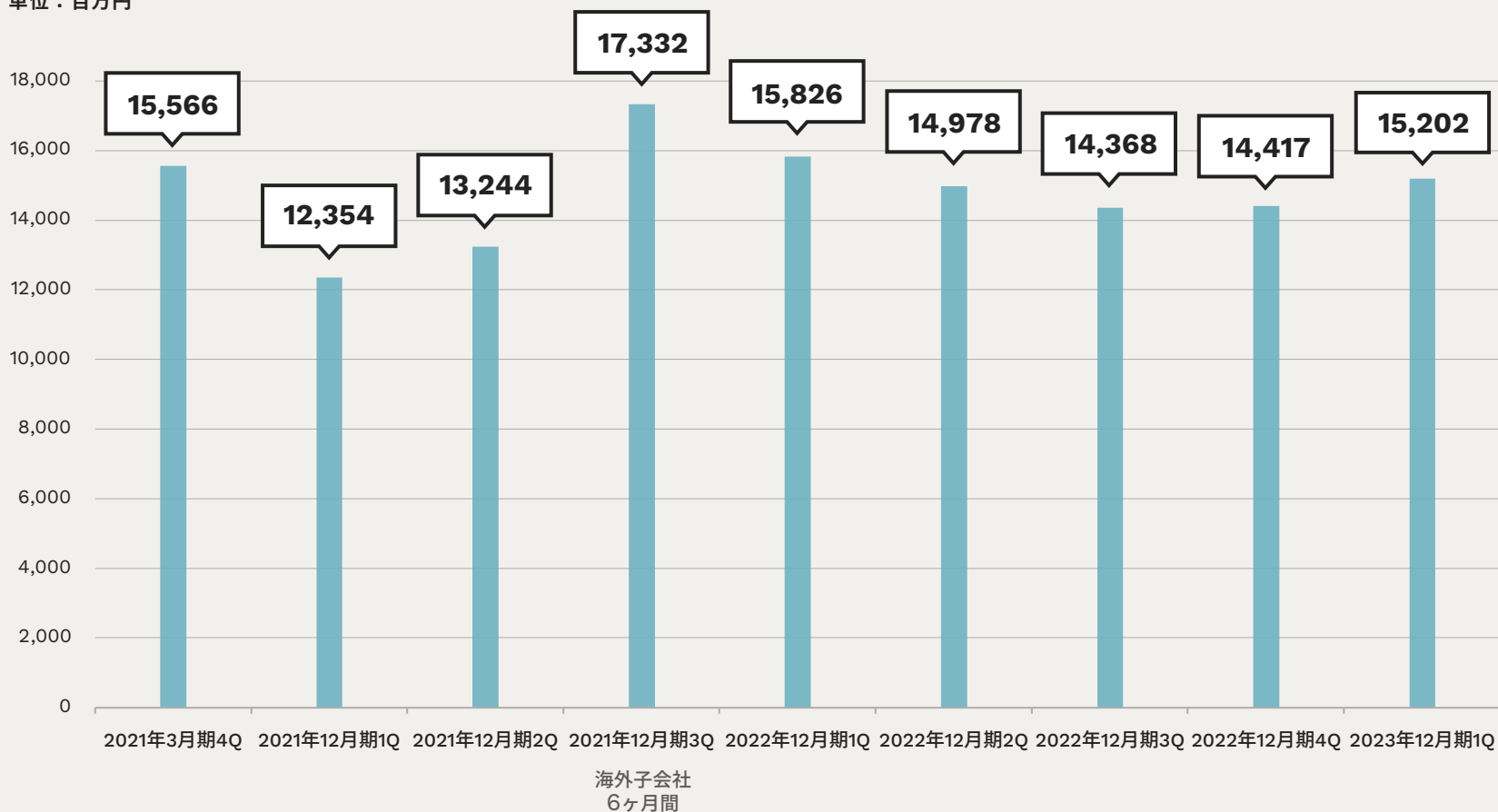
3

Chapter 3 : Supplementary materials

補 足
資 料

連結取扱高 四半期推移

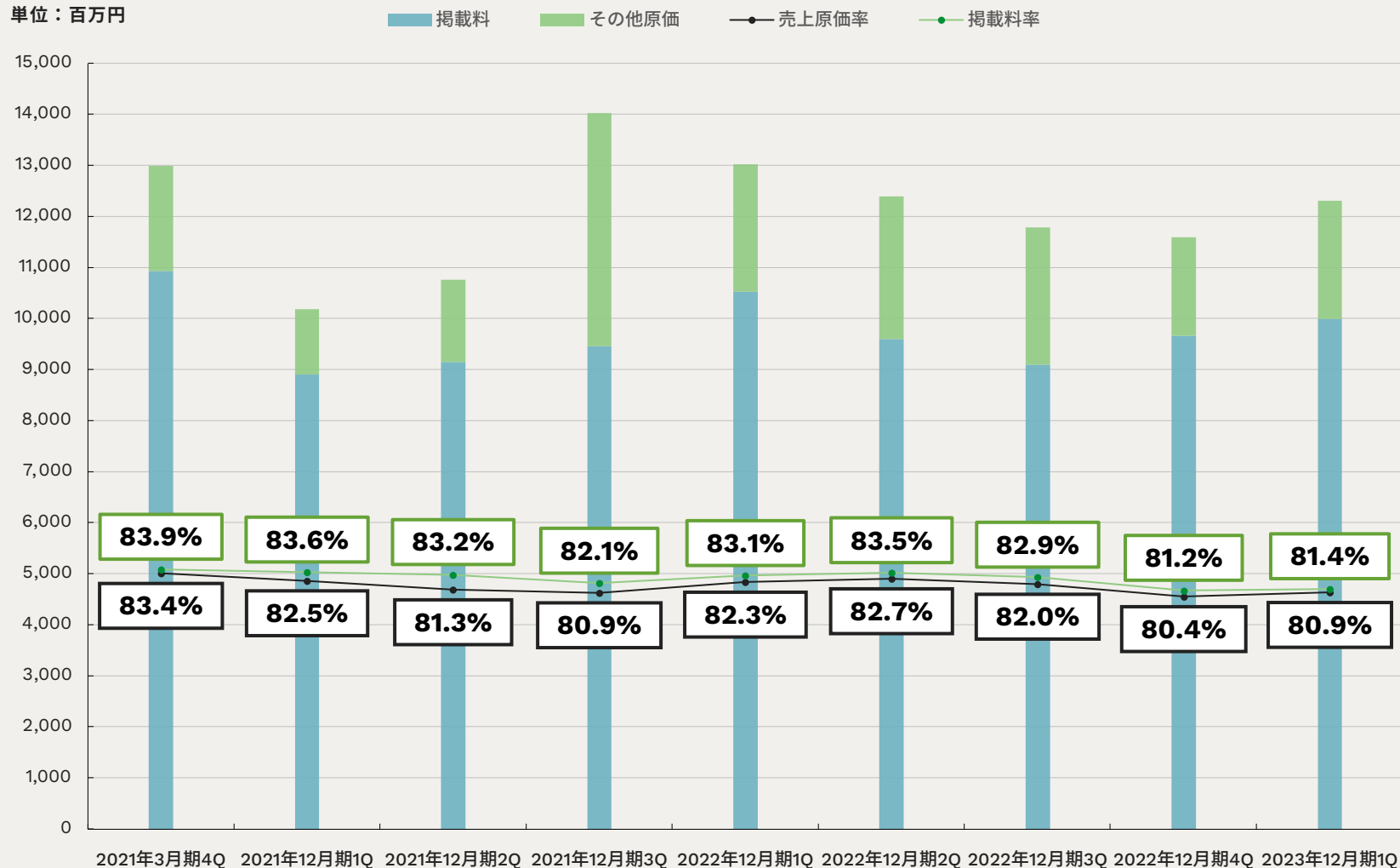
単位：百万円



※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結売上原価 四半期推移

単位：百万円



海外子会社
6ヶ月間

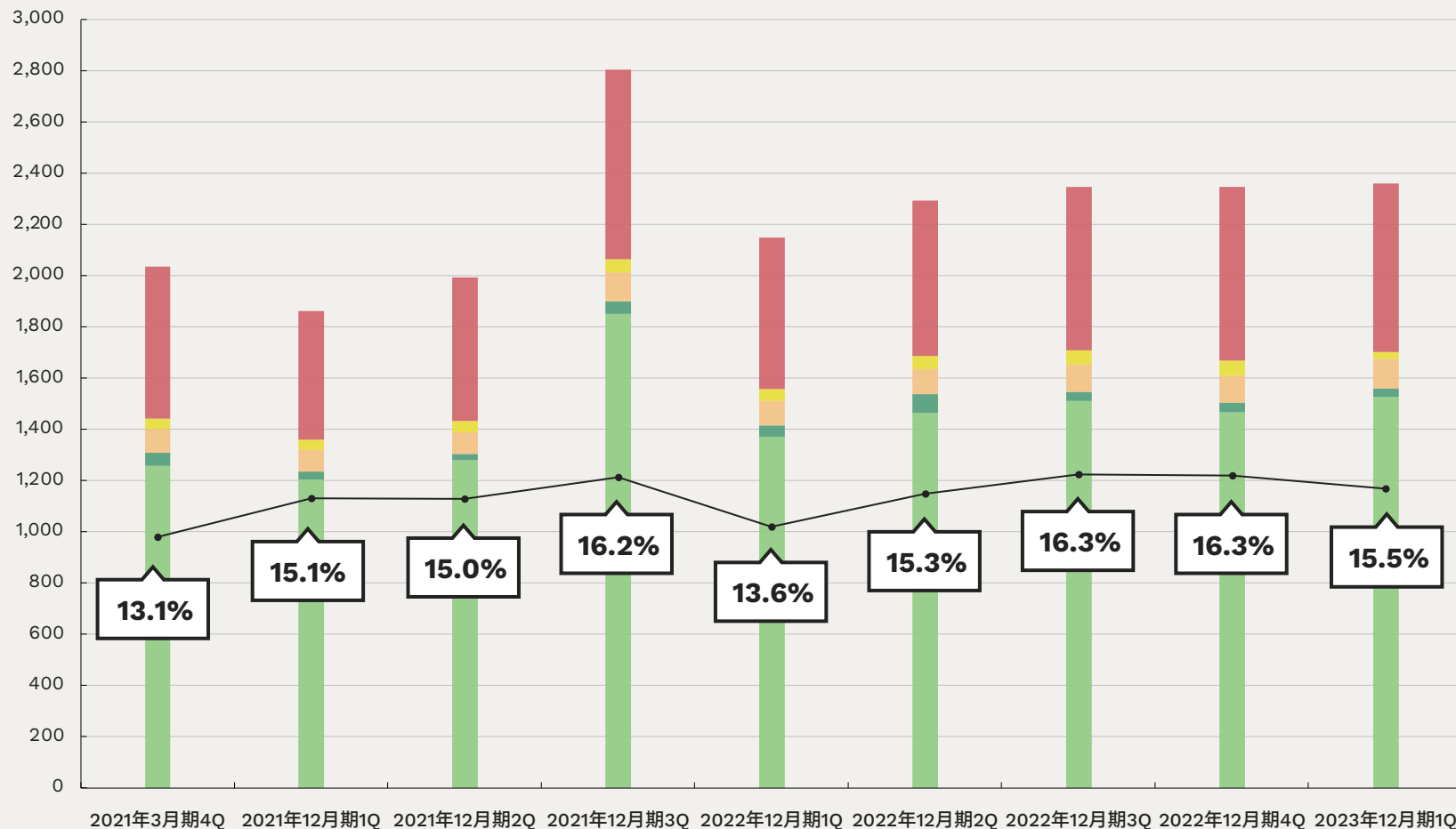
※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

※掲載料、掲載料率は単体とADWAYS DEEE合計での数値となります。

連結販管費 四半期推移

単位：百万円

■ 人件費
 ■ 採用教育費
 ■ 地代家賃
 ■ 減価償却費
 ■ その他経費
 ● 販管費率

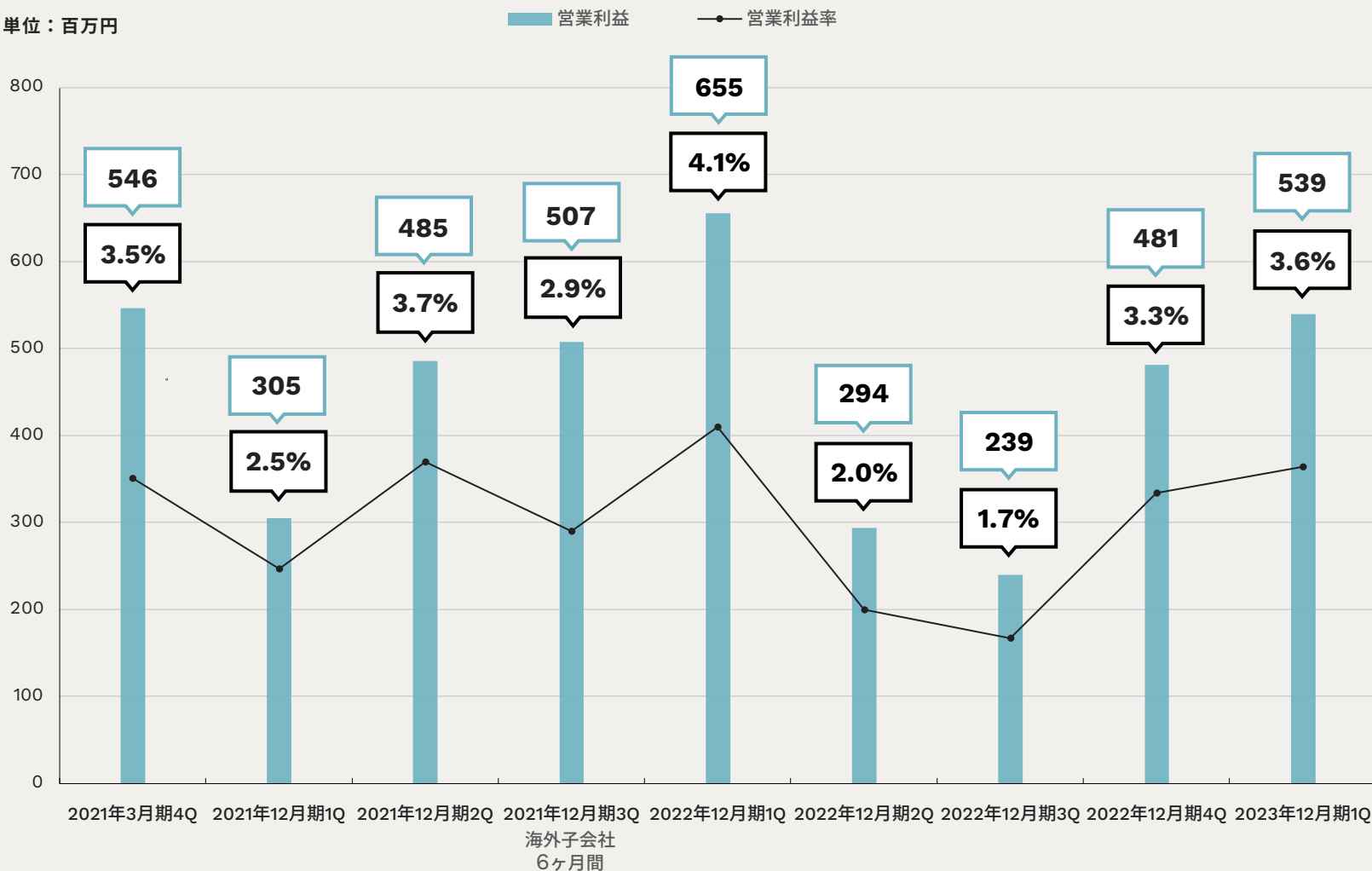


海外子会社
6ヶ月間

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結営業利益 四半期推移

単位：百万円



※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結貸借対照表（前四半期比）

単位：百万円

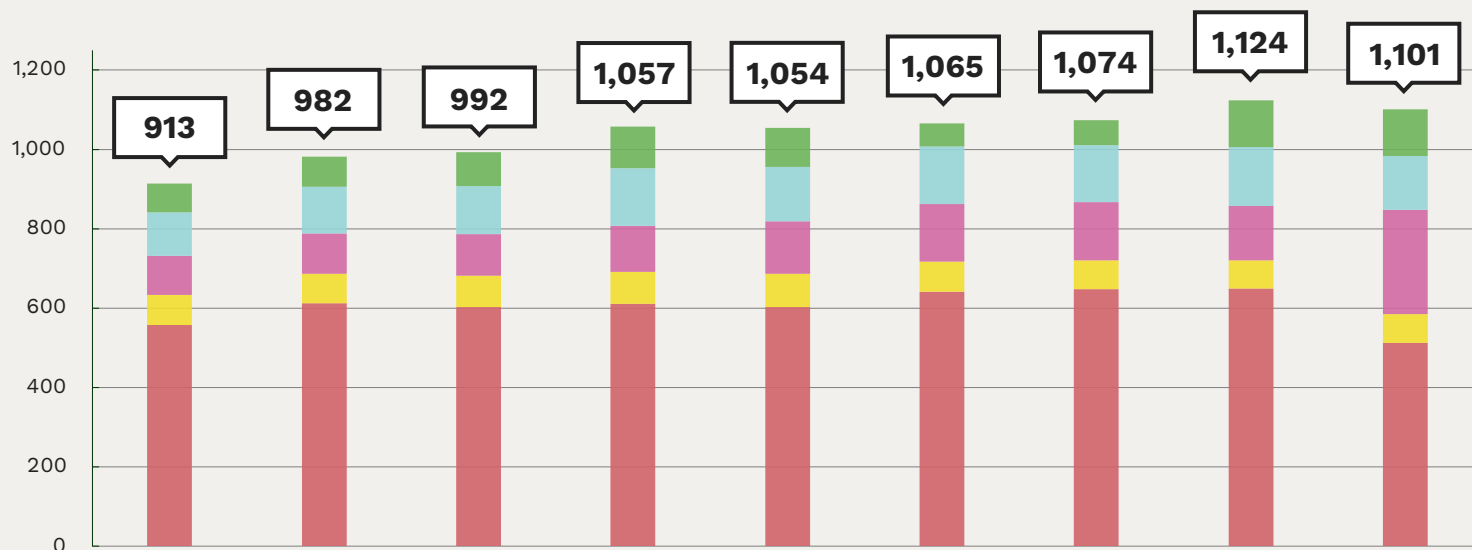
	2023年12月期1Q	2022年12月期4Q	増減額	増減率
流動資産	20,319	22,892	▲2,573	▲11.2%
（現預金）	11,037	12,869	▲1,832	▲14.2%
固定資産	4,651	4,897	▲245	▲5.0%
総資産合計	24,971	27,790	▲2,818	▲10.1%
流動負債	9,768	11,151	▲1,383	▲12.4%
固定負債	252	316	▲63	▲20.0%
負債合計	10,021	11,468	▲1,446	▲12.6%
純資産合計	14,950	16,322	▲1,372	▲8.4%

自己株式の取得を行った事により、純資産額が減少しております。

【参考】2023年2月17日～3月31日の自己株式取得額：1,243,859,600円

その後の取得状況については、当社ホームページの「IR情報」をご確認ください。

当社グループの従業員数 四半期推移



単位：名	2021年 3月期4Q	2021年 12月期1Q	2021年 12月期2Q	2021年 12月期3Q	2022年 12月期1Q	2022年 12月期2Q	2022年 12月期3Q	2022年 12月期4Q	2023年 12月期1Q
日本アドウェイズ	558	613	602	611	603	641	648	649	513
中国アドウェイズ	75	74	79	80	83	76	72	71	72
国内子会社	99	101	106	117	132	146	147	137	263
海外子会社（中国以外）	110	117	120	144	138	144	143	148	135
派遣／アルバイト等	71	77	85	105	98	58	64	119	118
合計	913	982	992	1,057	1,054	1,065	1,074	1,124	1,101

※2023年12月期1Qより、アドプラットフォーム事業を分割し、子会社化したため、日本アドウェイズが減少、国内子会社が増加しています。

会社概要

会社名 株式会社アドウェイズ (英名 : Adways Inc.)

設立年月日 2001年2月28日

事業概要 インターネット関連事業

代表者氏名 山田 翔

資本金 1,716百万円 [2023年3月末日現在]

取扱高 59,590百万円 [2022年12月期連結]

従業員数 1,101名 (グループ全体) [2023年3月末日現在]

※臨時雇用者含む